



デジトラッド 決済 & 物流システム

CONFIDENTIAL

会社概要

01

設立

2017年3月7日

02

所在地

東京都港区芝3-6-10 芝NAビル4階
(ナイジェリア/ケニア/エジプト/南アフリカ/香港/アメリカ)

03

従業員

約50名 (含海外メンバー)

04

株主

- ・山九株式会社
- ・東京海上日動火災保険株式会社
- ・株式会社NTT Data
- ・エアトリ
- ・クリークアンドリバー
- ・ケップルアフリカベンチャーズ
- ・アドリブテックベンチャーズ

他

メンバー



Joel Millin (CPO)

サンフランシスコ大学卒業。
アメリカ出身。シリコンバレー、
日本にて30年の開発経験。
UI/UX設計を手掛ける。



足立彰紀 (創業者CEO)

九州大学大学院修了。
伊藤忠商事化学品部門にて、
9年間、貿易ビジネスに従事



大森健太 (創業者COO)

東京大学大学院修了。
伊藤忠商事化学品部門にて、
6年間、貿易ビジネスに従事



堤雄三 (CMO)

甲南大学卒業。
元あしたのチーム社、COO。
複数企業にて役員を歴任。様々な業種
のマーケティングを15年以上経験。



Nicolas Germaineau (CTO)

ITIN大学卒業。フランス出身。
アメリカ、アイルランド、イギリスな
ど多国で、20年間SaaS企業でシステ
ム開発及びプロジェクト管理に従事。



呉正仁 (CHO)

早稲田大学卒業
豊田通商にて
投資案件の立案や販路開拓に従事
シカゴ・シンガポールでの駐在も経験

事業内容

ブロックチェーン・AI技術を基盤とした、デジタル貿易プラットフォームの開発・提供
 デジタル貿易プラットフォームを活用した貿易まるなげサービスの提供

The image displays a composite of three screenshots from the DIGITRAD platform:

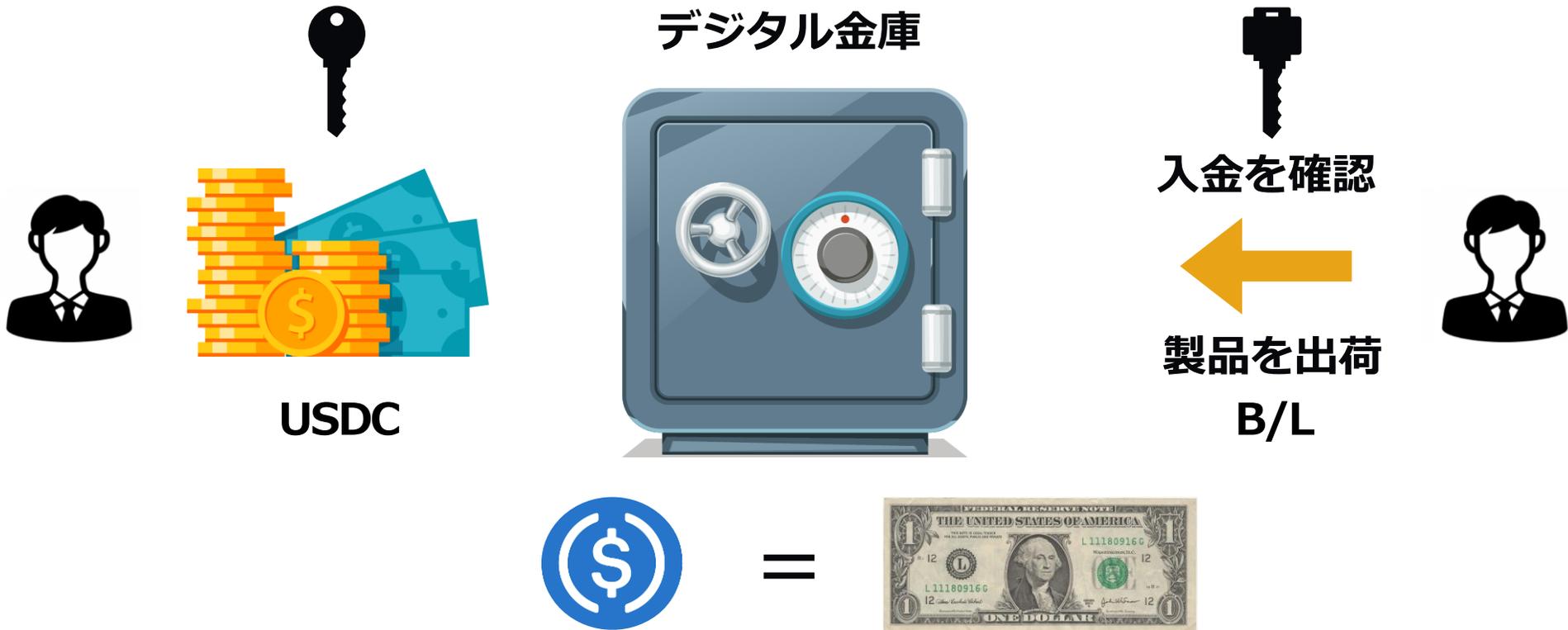
- Top Left:** A 'project summary rows' table with columns for project ID, date, user, origin, destination, amount, and status. It includes a 'DIGITRAD Forwarding' dashboard with tabs for Shipping Cost Simulation, Estimates, and Dashboard.
- Bottom Left:** A search filter interface for shipping routes. It shows origin (東京港 JPTYO) and destination (東京港 JPTYO) with a cargo volume of 1.23m³. Filters include shipping method (sea/air), price (¥0 to ¥100,000), and transit time (5 to 24 days). A list of ports is shown with checkboxes, including 上海港 CNSHA, 上海虹橋国際空港 CNSHA, and 上海浦东国際空港 CNPVG.
- Right:** A landing page titled 'Rate, Estimate, Book and Ship' with the subtext 'Find the best rates, get a real estimation & book your shipment'. It features a search bar with fields for Origin, Destination, and Cargo. A call to action 'Request Estimate/Booking' is present. Below is a 'Shipping a Container?' section with the text: 'There are plenty of options to make sure you get the best deal to maximize your cargo space and track your shipment door to door. Learn more about how to efficiently gather estimates below.' and a 'Learn More' button. An illustration of a container ship is shown at the bottom right.

01

デジタルラッドペイメント

海外との取引での不安要素「信用」をデジタル決済で解決

初取引は信用がないので、ビジネスが始められない
 新興国取引では貿易保険が利用できず、エスクロー機能は高額





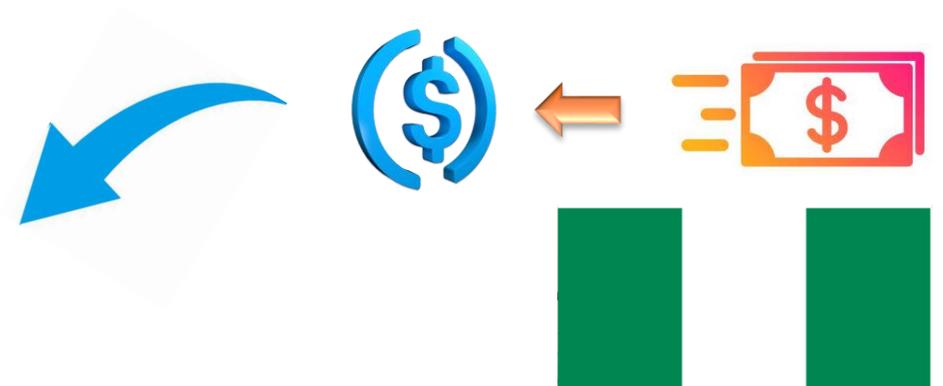
Ethereum
&
Polygon Network



Buyer



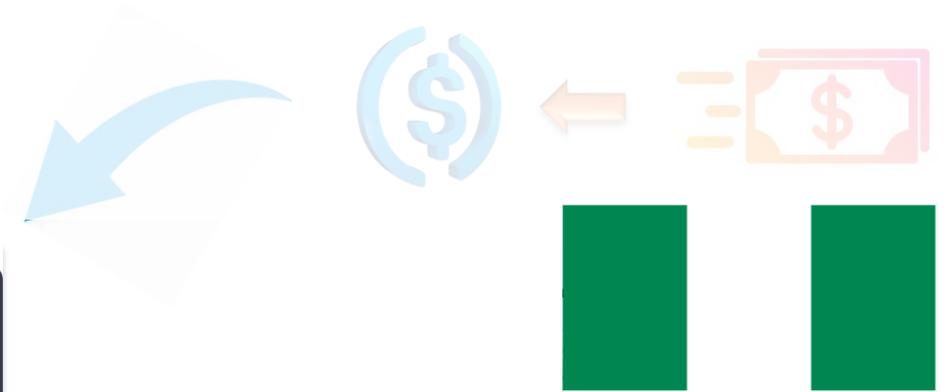
**Ethereum
&
Polygon Network**



Buyer

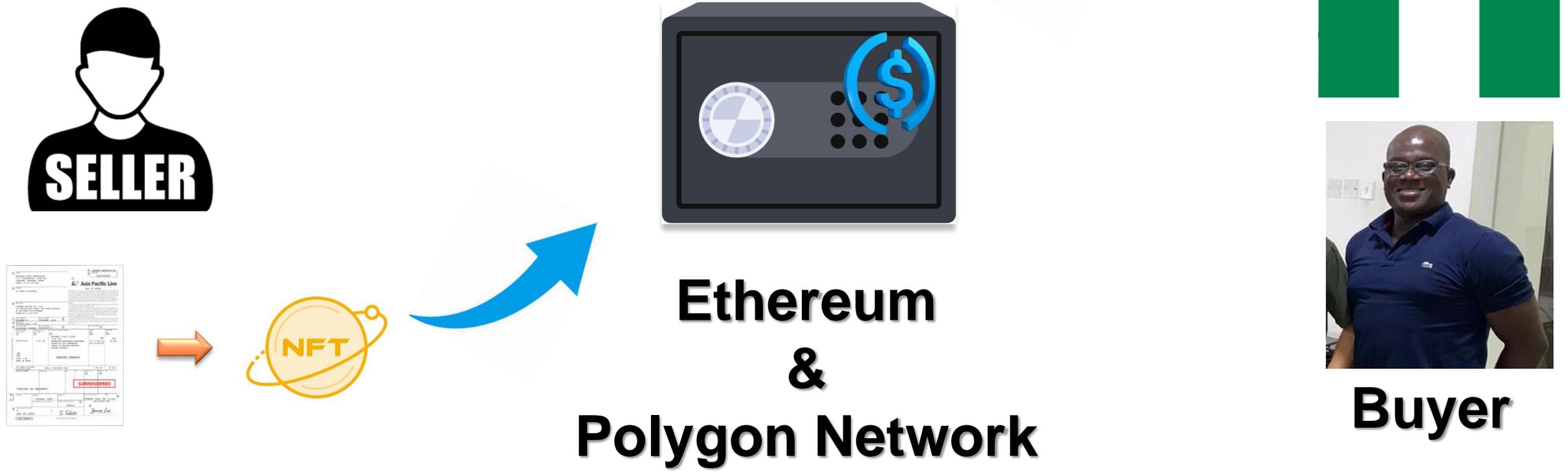


Ethereum
&
Polygon Network



Buyer

ソリューション



ソリューション



**Ethereum
&
Polygon Network**



Buyer

ソリューション



2030年に完全に移行する電子BL化、日本のステーブルコイン発行により
今後、貿易決済のデジタル化が急速に進んでいく。

コンテナ船社主要9社が2030年までに電子船荷証券（eBL）を100%採用するという方針を発表。

更に、6月の新改正資金決済法の施行により、日本が世界に先駆けて、ステーブルコインの発行が可能になり、貿易に決済の現場においてデジタル化の追い風が吹いている。

コンテナ船社、30年までに電子BL100%。
主要9社方針、年8700億円削減

日本海事新聞記事より

<https://www.jmd.co.jp/article.php?no=284541>

ステーブルコイン、日本で年内発行へ
1000兆円市場開拓

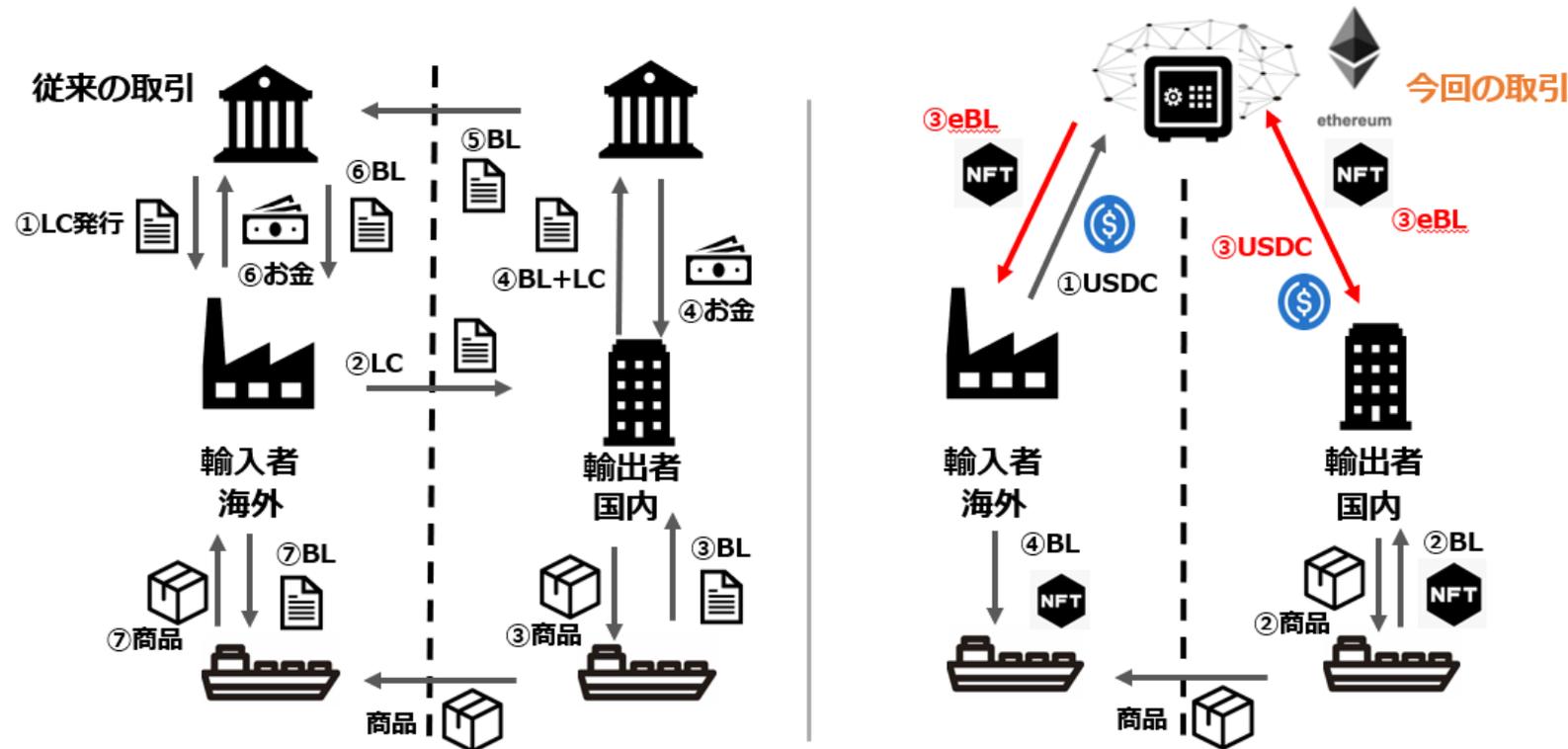
日本経済新聞記事より

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB2819F0Y3A520C2000000/>

ステーブルコインをつかった新貿易決済方法を実現。 デジタル金庫を電子化されたBL(eBL)を連携させ、同時交換を実現する

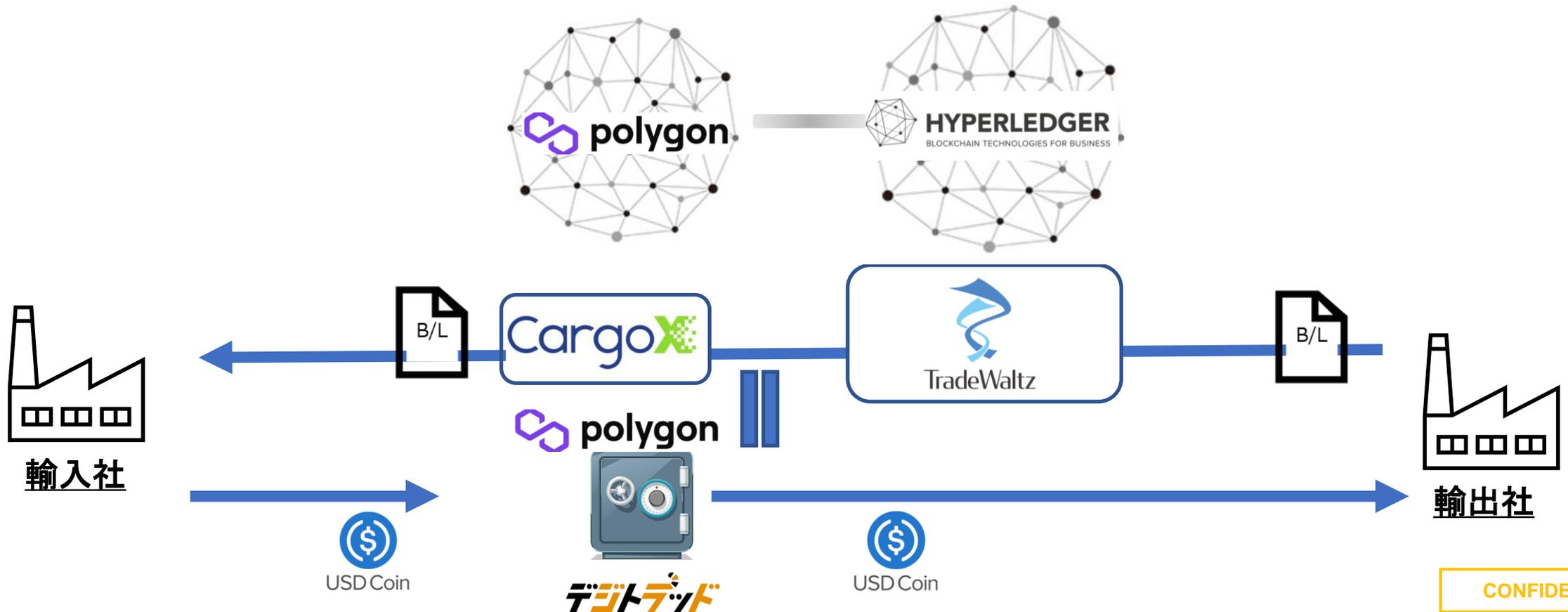
STANDAGEのデジタル金庫はイーサリアムと呼ばれるブロックチェーンを利用した決済システム
海外のCargoX社がイーサリアムで電子化されたBL(eBL)を発行するシステムを展開している。

今回、CargoX社のシステムとSTANDAGEのシステムを連結し、eBLの移転と貿易決済を自動かつ同時に実現する事が出来ました。



TradeWaltzとの協業について：ブロックチェーンの利用について

TRADEWALTZは貿易データの保管と、eBLの発行や受け渡しをHyperledgerとよばれる分散台帳システムで実行する。
一方、デジトラッドは、貿易の決済にステーブルコインを用いることでブロックチェーン上での決済機能を持っている。



02

デジタルロードフォワードニング

デジトラッドフォワーディングのコンセプト

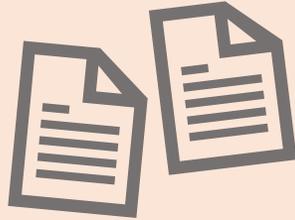
レガシーなフォワーダーを**デジタル**に革新させる ~メールの返信作業時間を半分に削減させる~



煩雑なオペレーションをもつフォワーダー様の**現場の生産効率を向上させていく**

現場の課題

- ・ お客様は**素早く料金比較**をしたい
- ・ フォワーダーは**受注確度の高いお問い合わせ**に時間を費やしたい



荷主の悩み

大量の業者への相見積が必要。
おおざっぱでよいので、
価格のイメージが欲しい。

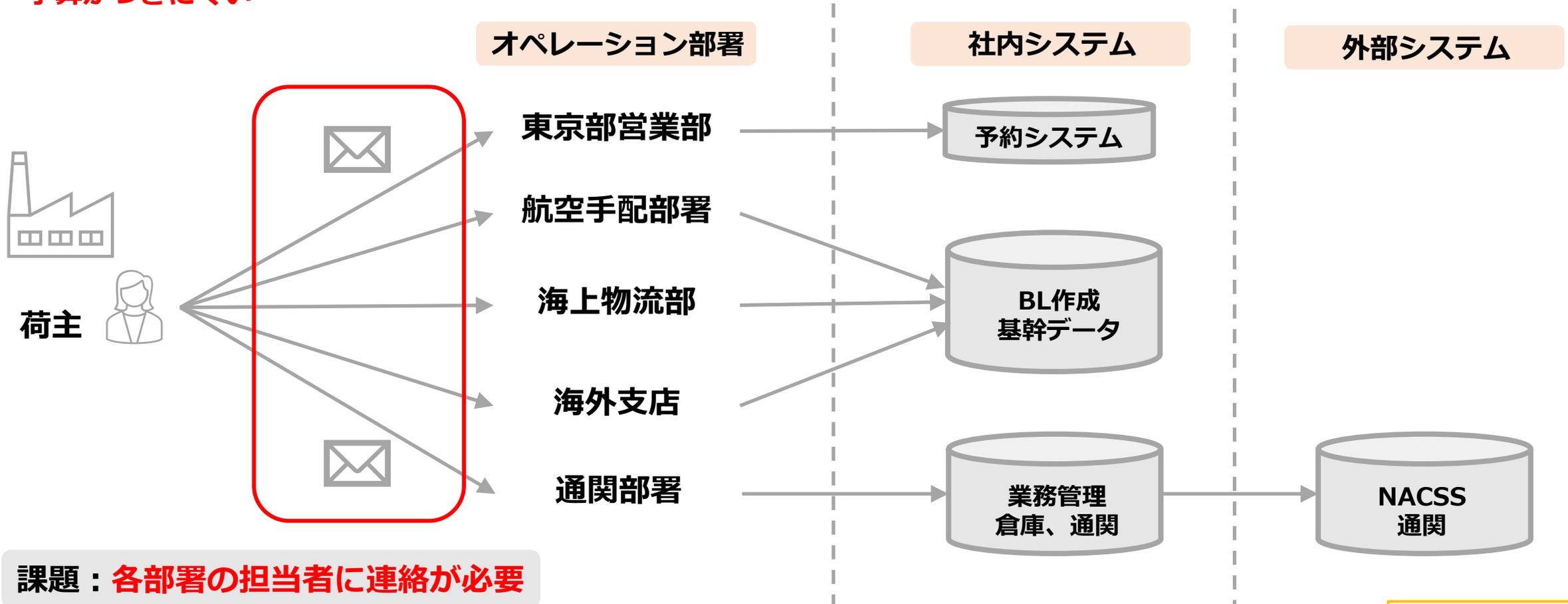


フォワーダーの悩み

大量の業者への相見積が届く。
受注確度が低い問合せにも、
精度の高い見積りを提出。

大手物流会社様のDX化の課題

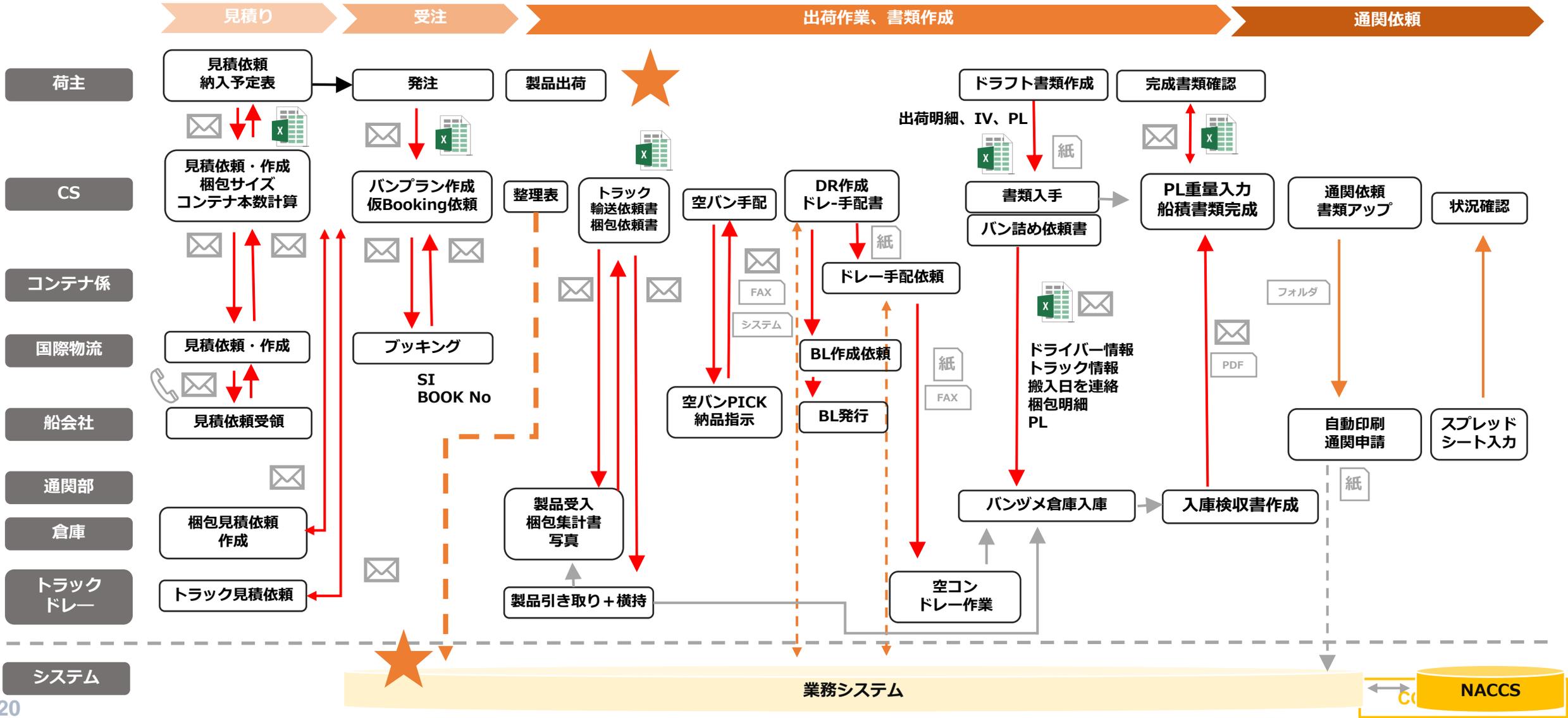
エンドユーザーは各部署とメールでのコミュニケーションが必要で、**各部署間の情報共有もできていない**
 会社としては業務管理システムに注力するため、**営業としては優先順位の高い顧客とのインターフェース開発に
 予算がつきにくい**



物流DXのビフォーアフター

メール、紙、エクセルのやりとり（**赤色矢印**）でDX化が必要なプロセス
これをシステム化（**オレンジ矢印**）にしていく必要がある

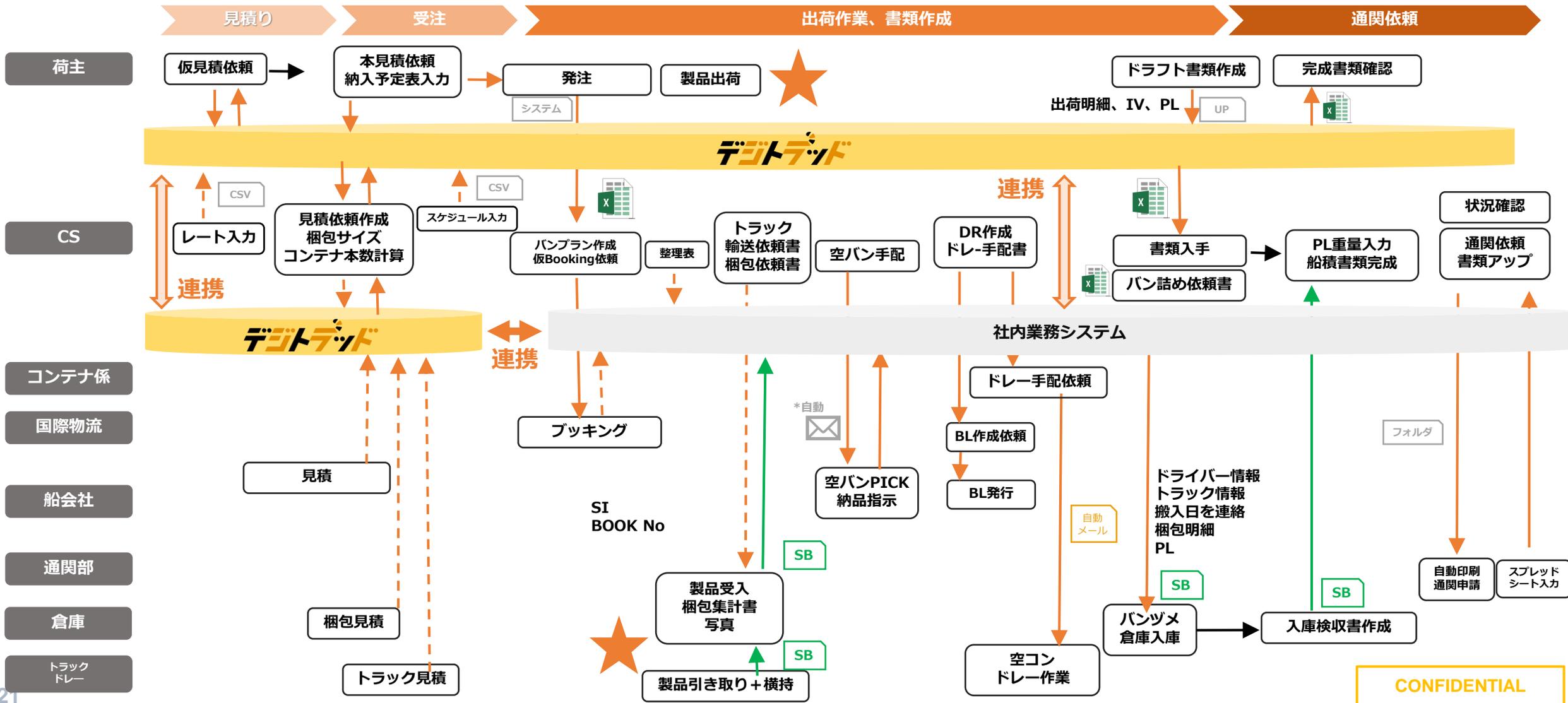
オレンジ点線矢印＝システム内で自動



デジトラッドフォワーディング導入によるDX化

デジトラッド導入で、**赤矢印**を**オレンジ矢印**におきかえ、自動化、荷主、各部署の情報連携を実現。

オレンジの点線矢印=システム内で自動
緑の矢印=スマートバーコード(予定)



デジトラッドフォワーディングの利用方法①

レートを共有いただくだけで、システムが**自動取り込み**
簡単に**貴社の見積サイト**を作成

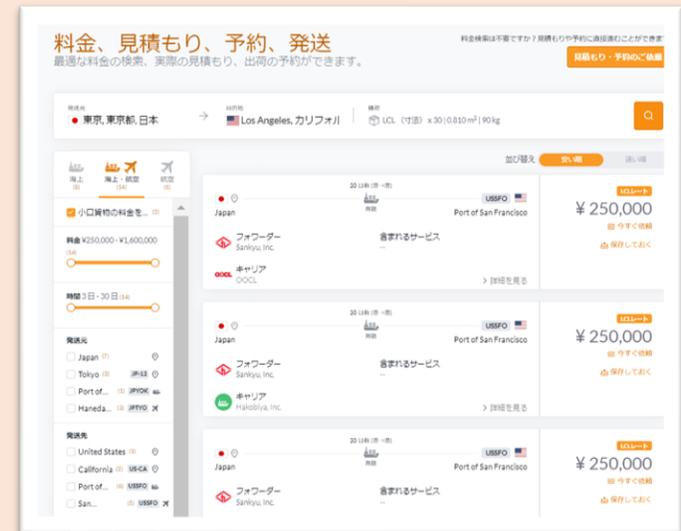


例えば、エクセルファイルをご共有いただくと…

システムが**レート**を自動読み込み



レートデータを自動反映

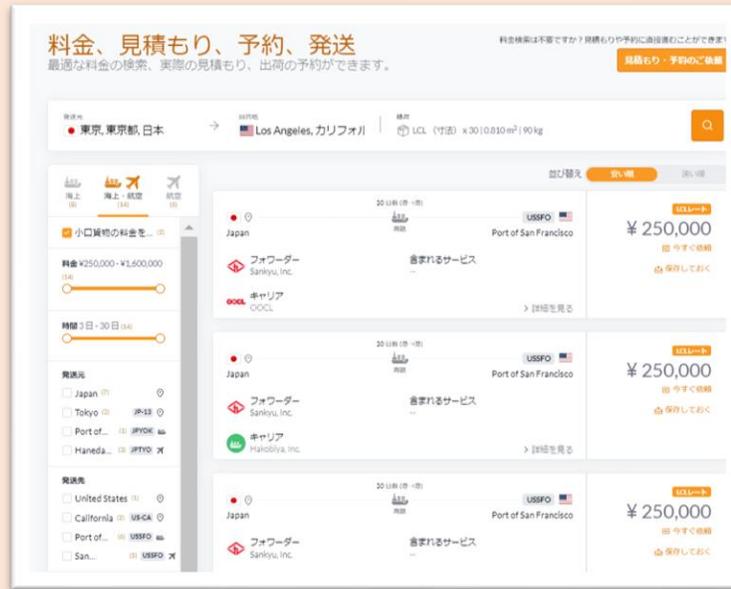


デジトラッドフォワーディングの機能

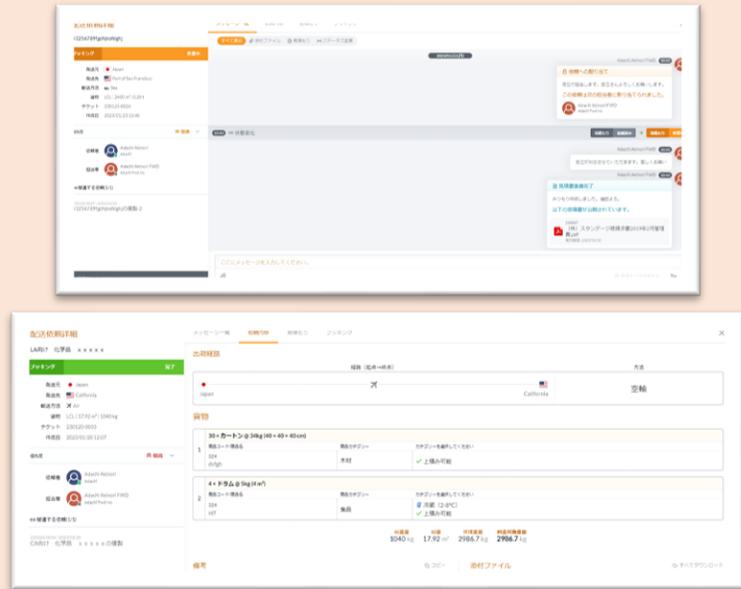
概算見積でおお客様へ料金プランを案内することで
相見積もり、確度の低いお見積り作業をなくすことが可能
 その後、**確度の高いお客様が見積り問い合わせに流入**



一括概算自動見積



本見積り問合せ



デジトラッドフォワーディング採用事例

概大手商社様物流部様が、自社内の営業チームに対しての自動見積回答システムとして採用。

デジトラッド

フォワーダー向け
見積インターフェース

レート管理機能

見積一括表示機能

チケット管理機能

チャット機能



デジトラッド PRO

荷主むけ
物流管理システム

社内自動本見積機能
スポット・入札レート

入札プロセス管理機能

経費案分処理機能

請求・見積データ分析機能

導入の効果

デジトラッドによる業務効率化効果を40人体制のチームで試算
時間にして月に“5,600時間”の削減可能

Before

改善可能な業務フロー	業務時間/コスト(月間) 5人チーム想定					40人/月	40人/年
	1回あたりの時間(分)	発生回数/日	営業日	対応者が複数人	合計時間/月間(分)	(時間)	2,500円
1 見積	30分	2	20	5	6,000分	250,000円	2,000,000円
2 顧客とのメール	5分	40	20	5	20,000分	833,333円	6,666,667円
3 他部署指示	5分	10	20	5	5,000分	208,333円	1,666,667円
4 各種法令申請	20分	2	20	5	4,000分	166,667円	1,333,333円
5 紙チェック	30分	4	20	5	12,000分	500,000円	4,000,000円
6 書類作成	20分	3	20	5	6,000分	250,000円	2,000,000円
7 書類保管	5分	95	20	1	9,500分	395,833円	3,166,667円
8 顧客別対応	120分	0.42	20	3	3,024分	126,000円	1,008,000円
合計 (月間5人現場)					65,524分	2,730,167円	10,920,667円

After

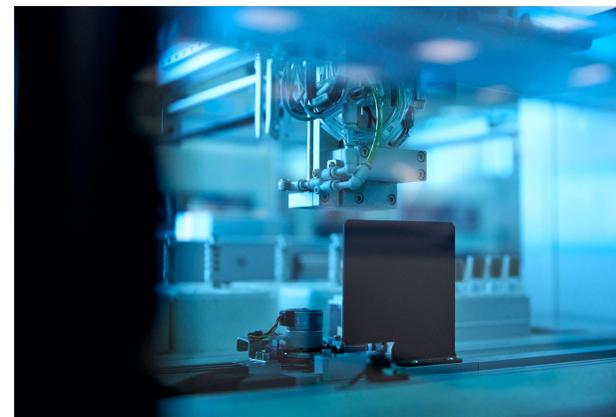
DX化の場合	業務時間/コスト(月間) 5人チーム想定					40人/月	40人/年
	1回あたりの時間(分)	発生回数/日	営業日	対応者が複数人	合計時間/月間(分)	(分)	2,500円
1 見積	15分	2	20	5	3,000分	125,000円	1,000,000円
2 顧客とのメール	5分	8	20	5	4,000分	166,667円	1,333,333円
3 他部署指示	5分	2	20	5	1,000分	41,667円	333,333円
4 各種法令申請	20分	2	20	5	4,000分	166,667円	1,333,333円
5 紙チェック	20分	4	20	5	8,000分	333,333円	2,666,667円
6 書類作成	7分	3	20	5	2,100分	87,500円	700,000円
7 書類保管	5分	0	20	1	0分	0円	0円
8 顧客別対応	60分	0.42	20	3	1,512分	63,000円	504,000円
合計 (月間5人現場)					23,612分	983,833円	3,935,333円

ご清聴ありがとうございました



会社紹介 Corporate Profile

会社名	西村医科器械株式会社
設立	1973年6月1日
代表者	長谷川 昭彦
所在地	本社：京都市南区上鳥羽八王神町378番地
事業内容	総合医療商社 <ul style="list-style-type: none">・医療機器、病院設備、介護用品、衛生材料などの販売・病医院、動物病院の開業及びコンサルティング業務
資本金	1,200万



製品紹介 Our Product

下記製品をはじめとした医療機器・病院設備等を幅広く取り扱っています。



MRI



CTスキャン



マンモグラフィ



事業概要 Our Business



1. 病院・医療機関へのコンサルティング業務
2. 病院・医療機関への新規医療機器の提案/納入、中古医療機器の買取
3. 購入した中古医療機器の整備・梱包・保管
4. リスト化した中古医療機器を新興国等へ販売
5. 輸送手配し、販売した中古医療機器を納入



途上国での問題 Issues in Developing Countries

外貨規制問題



- 1) 国際通貨が調達出来ず **LCが開設出来ない**
- 2) 前払いをしたくても、**国際通貨の送金ができない**

与信問題



- 1) 当該会社の与信が低く **LCが開設出来ない**
- 2) 契約時における **十分な前払いを行ってもらえない**



(株)STANDAGEとの提携 Partnership with STANDAGE Inc.

ナイジェリアからの引き合いが来たが、下記理由からSTANDAGEと取り組むことを決断。

1

ナイジェリアでは
USDに対する外貨規制があること

2

ナイジェリアにSTANDAGEが
現地法人を保有しており、
先方との円滑な
コミュニケーションを期待したこと

3

STANDAGEがナイジェリア向けに
輸出を行っており、物流面における
支援が期待できること

4

デジタル通貨を用いた貿易決済を
行っており、LCに問題があった
としてもバックアッププランが
期待できること



実際の問題 Actual Issues

取引開始に際し、下記の事象が発生。

LCの開設は出来たが、**金額や必要書類に問題があった**

LCの修正を依頼したが、理由をつけて**半年弱修正に応じなかった**

対応策

1. USDの調達の問題もあり、STANDAGEが提供するデジタル通貨を用いたデジタル決済に変更。
2. 当該金額のNGNをSTANDAGE Nigeriaに振込むことによって、USD建てでの着金を確認。
3. 即日着金の確認ができたことによって、迅速な船積み手配を実施。



メリットと将来性 Benefit/Future

デジタル決済を使ったメリット

- ✓ 外貨規制がある国でも **国際通貨ベースでの決済**ができること
- ✓ LC開設や送金にかかる時間がなく、**即日着金**ができること
- ✓ 即日着金が確認でき船積を実施できることから、**Shipper/buyer共にリスクが限定される**こと



将来STANDAGE社に期待していること

決済面

- 現在開発しているブロックチェーンを使ったデジタル通貨とeBLの同時交換によって、販売側の与信リスクが低減され輸出が行いやすくなること
- LCの代替となる与信機能を追加してもらい、より安全な取引ができるようになること

物流面

- 9月にローンチされたフォワーディングシステムとeBLシステムが連携し、船積準備から荷渡しまで一気通貫で管理できるようになること

